

# 高金利先進国債券オープン (資産成長型)

## <愛称 月桂樹 (資産成長型)>

追加型投信/海外/債券

### 交付運用報告書

第12期(決算日2020年7月10日)

作成対象期間(2019年7月11日~2020年7月10日)

第12期末(2020年7月10日)	
基準価額	17,228円
純資産総額	8,520百万円
第12期	
騰落率	3.3%
分配金(税込み)合計	10円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「高金利先進国債券オープン(資産成長型)」は、2020年7月10日に第12期の決算を行いました。

当ファンドは、世界の主要先進国の債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<941050>

### 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

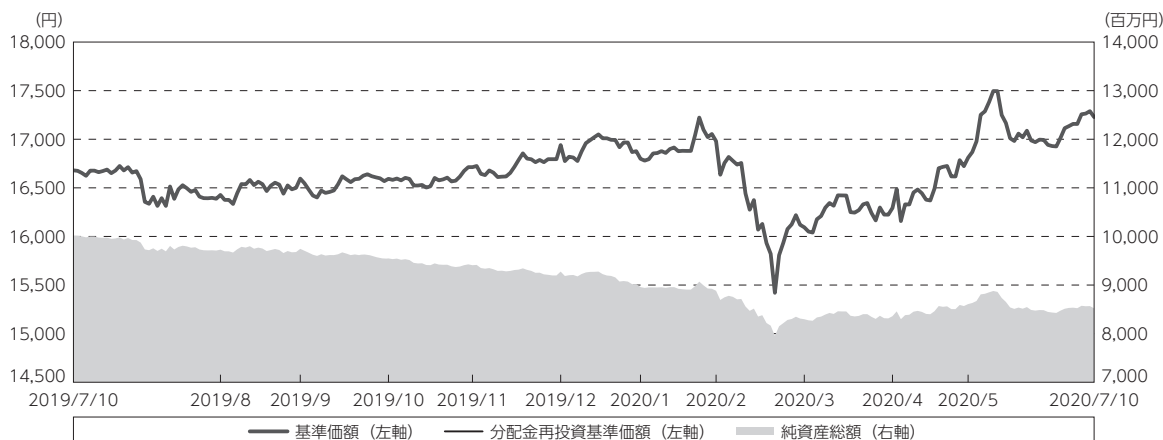
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404  
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2019年7月11日～2020年7月10日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2019年7月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界の主要先進国の債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・米国連邦準備制度理事会（F R B）による利下げが決定されたこと（2019年7月、9月、10月）。
- ・新型コロナウイルスの感染が世界各国に拡大し、世界経済に与える悪影響が懸念されて金利が全般に低下（債券価格は上昇）したこと。
- ・F R Bが緊急利下げに踏み切ったことや、欧州中央銀行（E C B）による金融緩和政策の長期化観測が台頭したこと。

## ＜値下がり要因＞

- ・新型コロナウイルスの感染拡大による金融市場の動揺を受けて、投資家が現金保有比率を高めるために債券を売却する動きが一部で見られたこと。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受けたりスクオフの動きなどから、円高／アメリカドル安となったこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2019年7月11日～2020年7月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	141	0.845	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 24)	(0.146)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(110)	(0.660)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 6)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.031	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 4)	(0.026)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	146	0.876	
期中の平均基準価額は、16,659円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

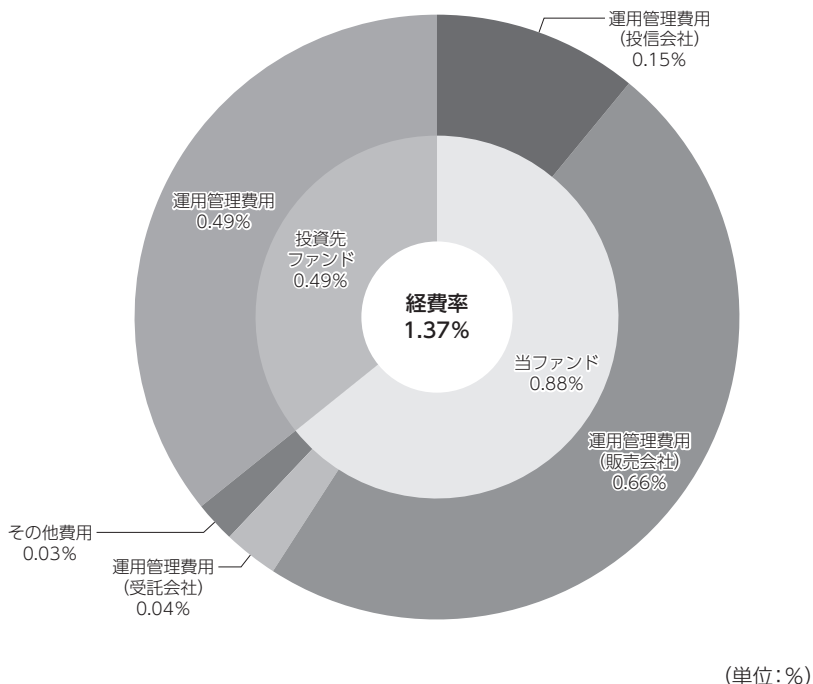
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## （参考情報）

## ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.37%です。



経費率 (①+②)	1.37
①当ファンドの費用の比率	0.88
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

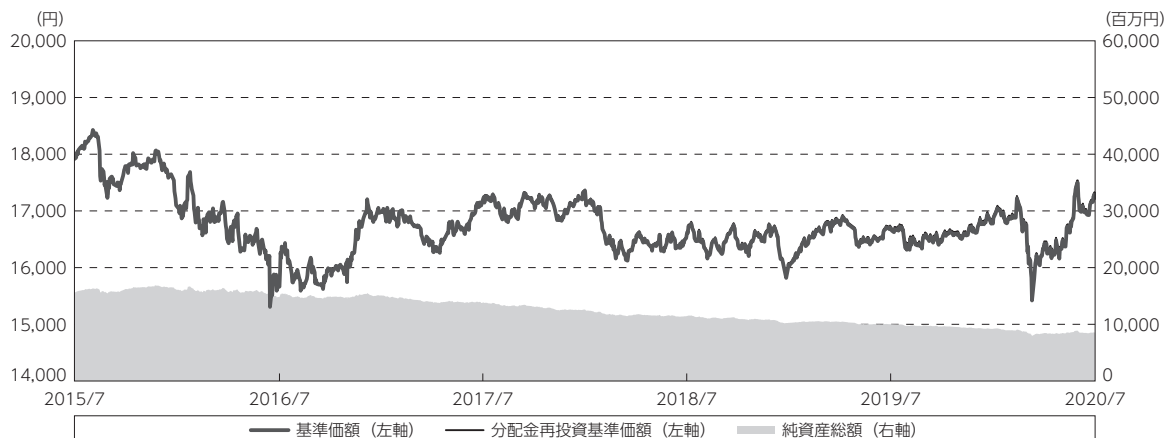
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2015年7月10日～2020年7月10日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年7月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年7月10日 決算日	2016年7月11日 決算日	2017年7月10日 決算日	2018年7月10日 決算日	2019年7月10日 決算日	2020年7月10日 決算日
基準価額 (円)	17,916	15,664	17,190	16,581	16,680	17,228
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	10	10	10	10	10
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 12.5	9.8	△ 3.5	0.7	3.3
純資産総額 (百万円)	15,644	14,802	13,822	11,459	10,016	8,520

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**投資環境**

(2019年7月11日～2020年7月10日)

**(債券市況)**

米国など各国の10年国債利回りは、期間の初めと比べて総じて低下しました。

期間の初めから2019年8月下旬にかけては、米国雇用統計で雇用者数の伸びが市場予想を上回ったことなどが利回り上昇（債券価格は下落）の要因となったものの、ユーロ圏における製造業指標の悪化やF R B高官の発言などを受けてE C BやF R Bによる利下げ観測が高まったことや、貿易や通貨政策を巡る米国と中国との間の関係悪化から市場がリスク回避志向を強めるなか、ドイツおよび中国の経済指標が軟調となり世界経済の下振れリスクが意識されたことなどから、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。9月上旬から年末にかけては、F R BやE C Bによる政策金利の引き下げなどが利回りの低下要因となったものの、英国の欧州連合（E U）離脱を巡り、離脱協定の修正案や離脱期限の延期について英国とE Uが合意に至ったことや、米中通商交渉で特定分野の合意に向けて協議が進展したこと、発表された経済指標から米国経済の底堅さが確認されたことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて上昇しました。

年末から2020年3月上旬にかけては、米国とイランとの間の対立による中東情勢の緊迫化や、新型コロナウイルスの感染が世界各国に拡大し、世界経済に与える悪影響が懸念されて国債への逃避需要が強まったこと、F R Bの緊急利下げやE C Bによる金融緩和政策の長期化観測などを背景に、各国の10年国債利回りは総じて大幅に低下しました。その後、欧米で新型コロナウイルスの感染対策のための各種規制を緩和する動きから経済活動の早期再開期待が高まったこと、欧米主要国による景気対策のための財政拡大が示されたことなどを背景に、各国の10年国債利回りは概して若干上昇しました。

**(国内短期金利市況)**

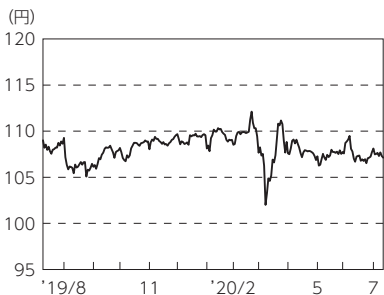
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.08%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.14%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.11%近辺で期間末を迎えました。

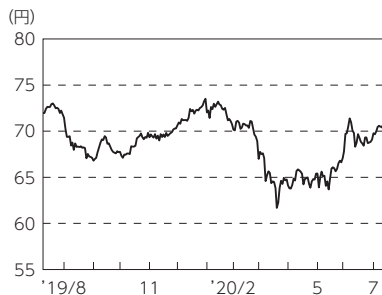
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

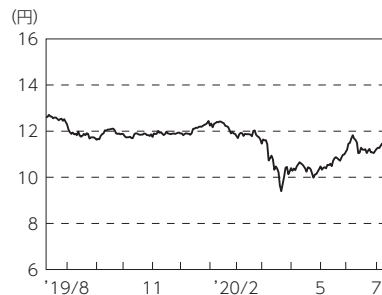
円／アメリカドルの推移



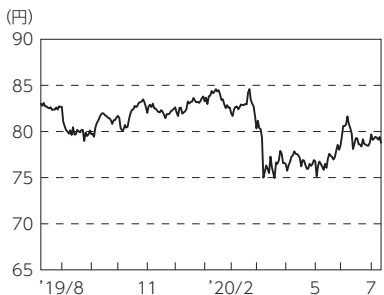
円／ニュージーランドドルの推移



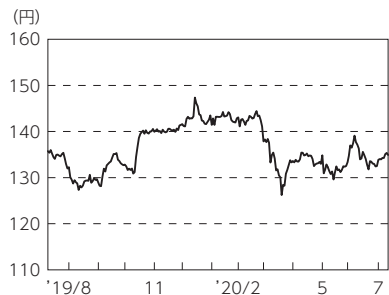
円／ノルウェークローネの推移



円／カナダドルの推移



円／イギリスポンドの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(2019年7月11日～2020年7月10日)

### (当ファンド)

当ファンドは、「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

### (高利回り先進国債券ファンド クラスA)

期間中、オーストラリアを売却する一方でイギリスの買付を行ないました。期間末の投資対象国（通貨ベース）はアメリカ、ノルウェー、ニュージーランド、カナダ、イギリスの5カ国となりました。

ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）に関しては、国ごとのデュレーションを調整し、リターンの最大化に努めました。

### (マネー・オープン・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年7月11日～2020年7月10日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。



**分配金**

(2019年7月11日～2020年7月10日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第12期
	2019年7月11日～ 2020年7月10日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.058%
当期の収益	10
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	9,912

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****(当ファンド)**

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

**(高利回り先進国債券ファンド クラスA)**

原則として、各国の金利水準、信用力、財政状況などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を考慮して投資を行なう方針です。債券市況、為替市況、各国のファンダメンタルズなどの変化にあわせて、投資比率並びに投資対象国（通貨ベース）およびポートフォリオのデュレーションの変更などを柔軟に検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

**(マネー・オープン・マザーファンド)**

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

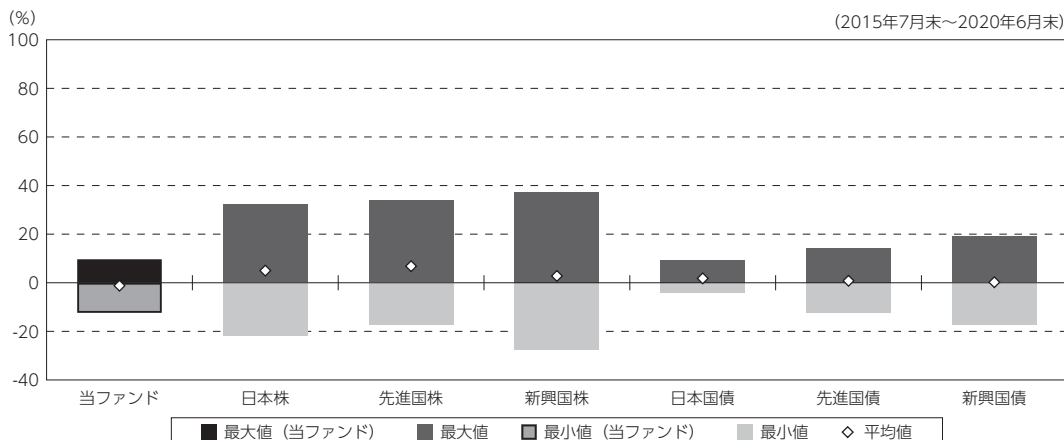
2019年7月11日から2020年7月10日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2008年11月12日から2023年7月10日までです。
運用方針	主として、ソブリン債（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）や社債などを主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「高利回り先進国債券ファンド クラスA」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	経済協力開発機構（OECD）加盟国の中から信用力が高く、金利水準が相対的に高い国の公社債に投資を行ないます。投資対象通貨は、必要に応じて適宜見直します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	9.7	32.2	34.1	37.2	9.3	14.0	19.3
最小値	△ 12.4	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	△ 1.2	5.0	6.8	2.8	1.8	0.8	0.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年7月から2020年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

#### 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

#### 指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2020年7月10日現在)

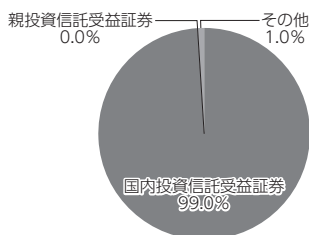
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第12期末
	%
高利回り先進国債券ファンド クラスA	99.0
マネー・オープン・マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

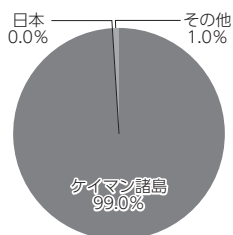
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

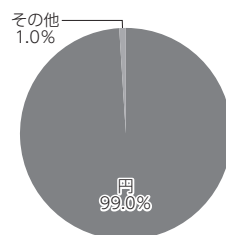
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

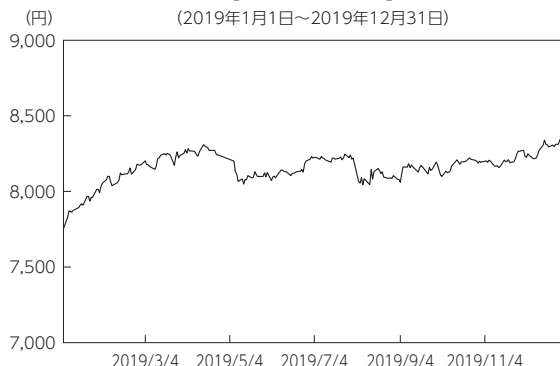
項目	第12期末	
	2020年7月10日	
純資産総額	8,520,474,397円	
受益権総口数	4,945,572,586口	
1万口当たり基準価額	17,228円	

(注) 期中における追加設定元本額は433,248,556円、同解約元本額は1,492,957,728円です。

## 組入上位ファンドの概要

### 高利回り先進国債券ファンド クラスA

#### 【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

#### 【1万口当たりの費用明細】

(2019年1月1日～2019年12月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

#### 【組入上位10銘柄】

(2019年12月31日現在)

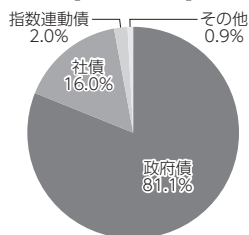
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	Canada Government 3.5% 01-Jun-20	政府債	カナダドル	カナダ	5.4
2	USA Treasury Notes 2.25% 31-Mar-20	政府債	米ドル	米国	5.1
3	USA Treasury Notes 1.625% 15-Mar-20	政府債	米ドル	米国	4.8
4	Norway (Kingdom of) 2% 26-Apr-28	政府債	ノルウェークロネ	ノルウェー	4.3
5	New Zealand Local Government Funding A 2.75% 15-Apr-25	政府債	ニュージーランドドル	ニュージーランド	3.5
6	USA Treasury Notes 1.125% 30-Apr-20	政府債	米ドル	米国	3.3
7	Norway (Kingdom of) 3% 14-Mar-24	政府債	ノルウェークロネ	ノルウェー	3.1
8	Canada Government 5% 01-Jun-37	政府債	カナダドル	カナダ	3.1
9	Norway (Kingdom of) 1.75% 17-Feb-27	政府債	ノルウェークロネ	ノルウェー	2.9
10	Canada Government 1.75% 01-Aug-20	政府債	カナダドル	カナダ	2.3
	組入銘柄数		69銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

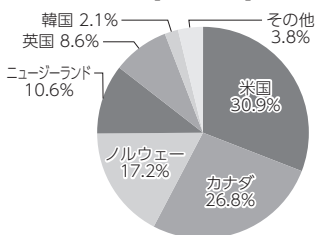
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

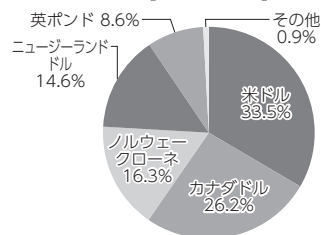
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



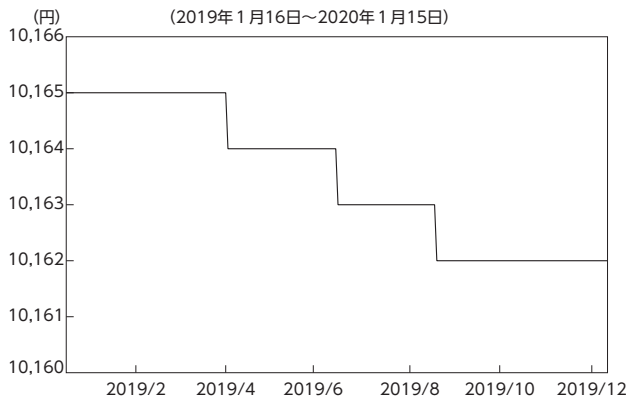
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## マネー・オープン・マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2019年1月16日～2020年1月15日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2019年1月16日～2020年1月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他の費用他	円 0 (0)	% 0.002 (0.002)
合計	0	0.002

期中の平均基準価額は、10,163円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入資産の内容

(2020年1月15日現在)

2020年1月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。